

# IX

WANDERERS FROM YS



イースⅨ—アクションマニュアル

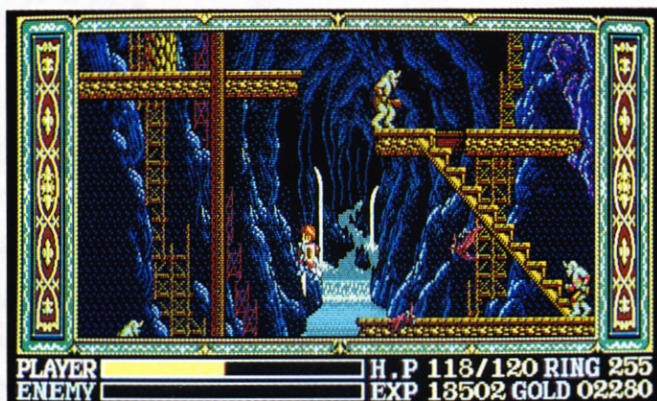


# ティグレーの採石場

再びティグレーの採石場へとやってきたアドル。エドガーに頼まれて彫像探しの手伝いに来ただけで、ここまで来ると、モンスターもかなり強力になっているから、苦戦をしいられることだろう。地形の起伏も激しくなっているの、注意しながら歩くように。どこにどんな敵が潜んでいるかわからないぞ。



## 採石場でアドルは新たな事実を知る



入り口付近のモンスターは、今のアドルのレベルならもう敵ではない。ガンガン進もう。しばらく行くと、街の人が数人集まって何やら話をしていた。どうやら宝箱が開かないらしい。が、アドルがその宝石に近づくと、持っていた彫像が反応して宝箱が開いたではないか！ 箱の中には「使命の石板」が入っていた。これには、4つの彫像を持って巨大な怪物を封印しようとしている勇者の姿が描かれていた。これは何を意味しているのか？ ここに描かれている勇者とは、アドルのことなのだろうか!?



■最初に来たときはこの扉は開かなかったんだ。いったいどうやって開けたのだろうか。この奥は呪われていると聞いたんだけど……。



■この宝箱を開けると、巨大な地震がアドルたちを襲う。

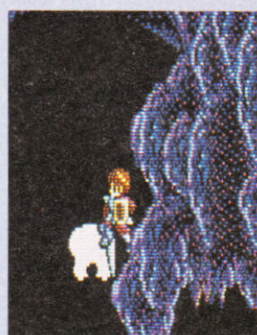


■このガルバンを封印した男の生まれ変わりがアドルなのだろう。もうやるしかない!



# イースⅢはアクションゲームだった!?

## バーレン



こいつは浮遊能力を持っていて、自由に空中を飛び回っている。上昇するときはフワフワと上がっていくんだけど、下降するときはスーッとす速く降りてくるので、注意が必要。相手にしなければどうということはないんだけど、ときどきしつこく追ってくるやつがいるから、気をつけること。



▲こんな風に着地地点で口を開けて待ってる場合がある。下に飛び降りるときは、必ず下突きの体勢をとりながらにしよう。

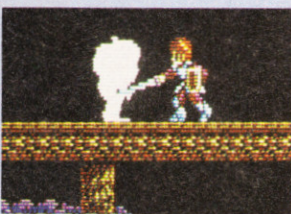
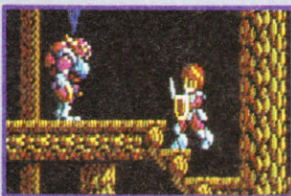
見てのとおり、イソギンチャクのモンスターだ。近づくと、長い触手を伸ばして攻撃してくる。コイツはジッとしているから、触手の長さをきちんと把握して、ある程度間隔をおいて攻撃すれば大丈夫。そんなのかったるいぜ、という人は触手なんか無視して、ジャンプ&下突きでビシッとやっつけるといい。けど失敗するとかなりのダメージを受けてしまうので、自信のない人はやめておいたほうがいいだろう。

## ローバル

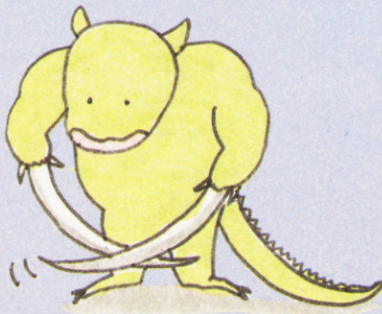


うによ

## ゲルド



ゲルドは、伸縮自在の鋭く長い一本爪で攻撃してくる。こいつの攻撃スピードは目にも止まらないくらい速いので、うかつに近寄るととても危険だ。こっちが剣を振ろうとしたときには、もうダメージを受けている。ラデルを倒したときの間合いは覚えているかな？ あれがそのままゲルドに使えるんだ。剣の先端がうまく敵に当たるように、早めに剣を振るんだぞ。

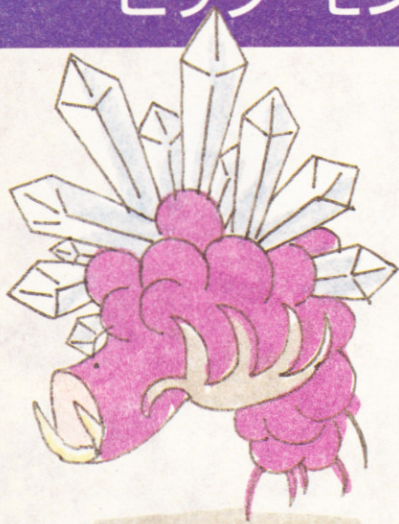


す速い突きだぜ!



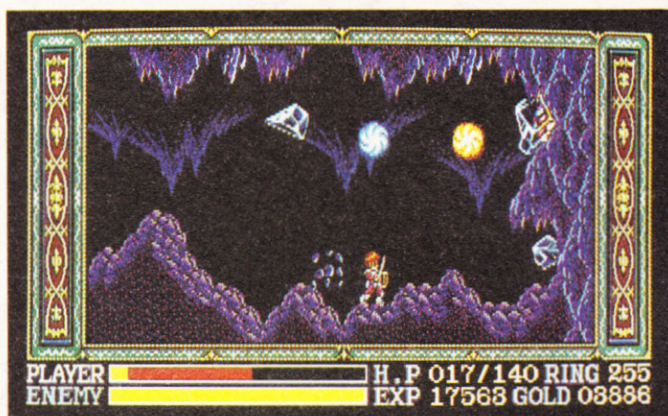


# ビッグ・モンスター、イスターシバだ



この装備でいくんだぞ!

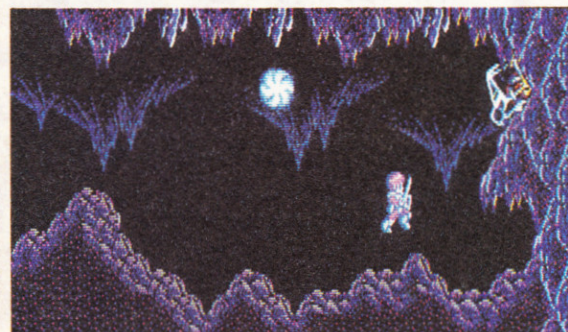
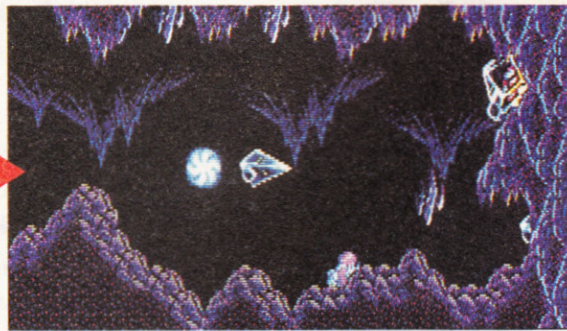
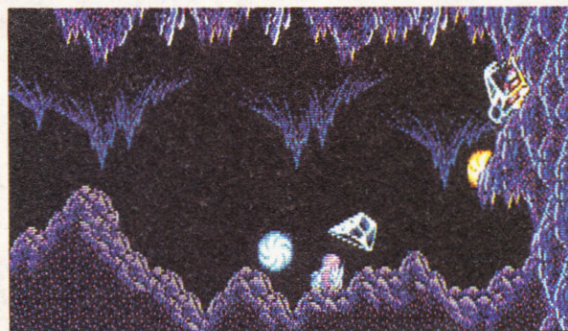
EQUIPMENT		鎧	
SWORD :			
ARMOR :			
SHIELD :			
RING :			
ITEM :			
		STATUE	



■なぜ鉱物が生命を持ったのだろうか。これもガルバランの仕業なのかもしれない……。

イスターシバは、鉱物に生命が宿ったものだ。動くことはないけど、不思議な能力を持っているので、近づくのは容易じゃない。最初は、どれを攻撃したらいいのか、とまどうと思う。実は画面右上の大きな結晶が、イスターシバの本体だ。倒しかたは下の写真のとおり。まず、写真の場所で伏せて待機する。立っていると、飛んでくる結晶に当たっちゃうからね。そして5個めの結晶が飛んでいった後、少し間があくから、このスキに一気にジャンプして本体に飛びつけ! そのとき、本体のまわりをグルグル回っているオレンジの物体に注意すること。これに当たると思いっきりはじかれてしまうのだ。攻撃する前にははじかれちゃ意味がないぞ。本体に飛びついたらひたすら剣を振るべし。タイミングがよければ、3発は攻撃できるぞ。パターンを覚えてしまえば楽勝だ。

ココ、この場所で待機だあ!——そして5個目の結晶が過ぎたら……



一気に飛びつく!——打つべし、打つべし!

白光の脱像  
を、手に入れた。



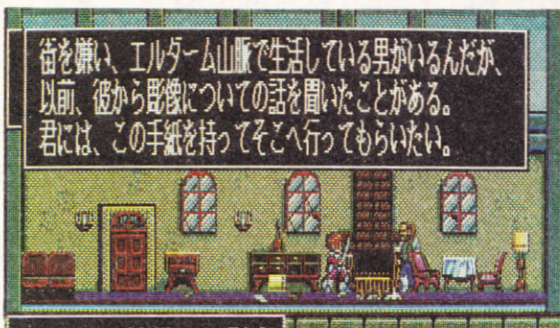


## エドガー宅に不審な人物が

アドルは無事「白光の彫像」を手に入れ、エドガーのところへ戻った。が、エドガー宅のドアを開けようとしたとき、中から話声が聞こえてきたのだ。どうやら誰かに脅かされているらしい。

その不審な人物は、「あいつさえ復活させられれば、この世界は我々のものだ」などと言っている。「あいつ」とはきっとガルバランのことだろう。しばらく話を聞いていたら、今度は「彫像をよこせ」と脅しはじめた。彫像がなければ、ガルバランを封印することは不可能だ。こんなヤツらに渡してしまったら、いままでの苦勞が水の泡になってしまう。しかし、エドガーがこんなヤツらに応じるはずがない。すると、「街の人がどうなるかわからないと思え!」と捨てゼリフを残し、そいつらは去っていった。

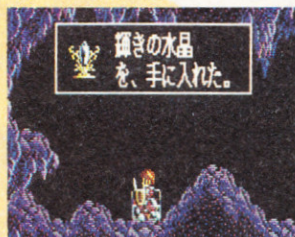
エドガー宅に入り、わけを聞いてみると、今来ていたのはバレストアイン城のヤツらだという。早く彫像を集めて何とかしないと、とんでもないことになりそう。次の彫像のありかは、エルダーム山脈に住むある男が知っているらしい。急いでその男に会わなくては……。



エドガーの手紙  
を、もらった。

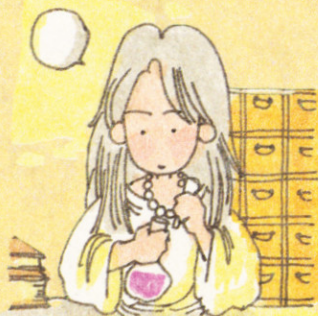
■お次はエルダーム山脈だ。エドガーも行きたがっているが、足を怪我してはどうしようもない。

●ちょっと見つけにくいところにあるので見落とさないように。重要アイテムだ。



## ブロシアの秘薬ができるのだ!

ティグレーの採石場の奥深くで、「輝きの水晶」を見つけたはずだけど、これってどこかで聞いた覚えがあるよね。そう、薬屋のお姉さんがほやいていたアイテムだ。これを薬屋に持っていくと、「ブロシアの秘薬」という薬を作ってくれるのだ。これは、Ringを回復してくれるので必ず持っていないといけないぞ。1000Gもするからよく考えて使おう。



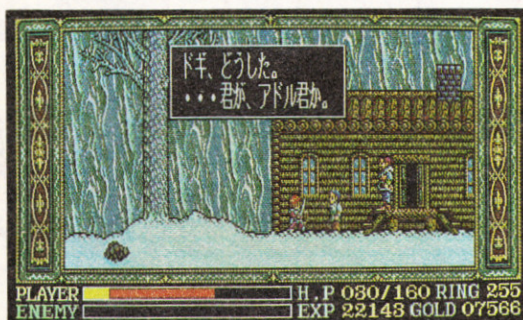


# エルダーム山脈

レドモントの街の北西に連なるエルダーム山脈。ここは白い雲が流れ、遠くの山々を眼下に見渡すことができる。また一面雪に覆われていて、思わず見とれてしまうほど美しい。しかしそんな景色を眺めている暇はない。ひっきりなしにモンスターが襲いかかってくるのだ。無事に彫像を見つけ出せるか!?



## あれま、こ〜んなところにドギがいたぞ!



■ バレンスタイン城のヤツらよりも先に彫像を見つけたさなければいけないぞ。



エルダーム山脈に登り、ひたすら歩いていくと、山小屋が建っていた。ドアが開き、中から人が出てくる。なんとドギじゃないか! そういえば、ドギは以前、エルダーム山脈に出かけてくるとか言っていたなあ。ふと見ると、ドギの後ろからもうひとり男が出てきた。この人はどうやらドギの師匠らしい。

小屋に入ってドギたちの話を聞くと、彫像のある場所は強大な力によって封印されている、ということだ。そしてその封印を解くには、山頂にいるモンスターを倒さなければいけないらしい。うーん、ちょっとやさそつでは彫像は手に入らないみたいだなあ。ドギの師匠から“BANDED SLAYER”をもらったら、山頂目指して出発だ!

**BANDED SLAYER**  
を、もらった。

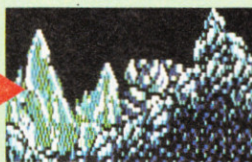
★ やった、ドギのお師匠さんから強力な武器をもらった。これで少しは戦いが楽になるぞ。



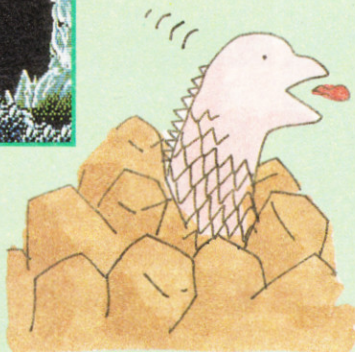


# 絶対、アクションゲームだよ、これ

## イルバ



ぽこぽこぽこ



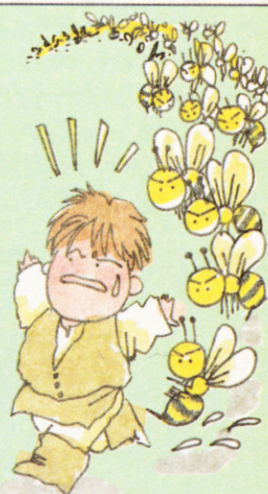
イルバは岩の精。体は岩で構成されていて、赤く光っている部分はマグマなのだ。エルダーム山脈の洞窟内に住み、侵入者に岩を飛ばして攻撃してくるぞ。ふだんは地中に潜っているので、どこから現われるのかまったく見当がつかない。アドルの足元が黄色く輝いたら、コイツが出てくる前兆なのでジャンプして逃げよう。無理に戦うことはないぞ。洞窟内では脇目もふらずに出口を目指すのが得策だ。ヘタにかまっているとヒットポイントが半分以下になってしまうからね。

## ジゲル

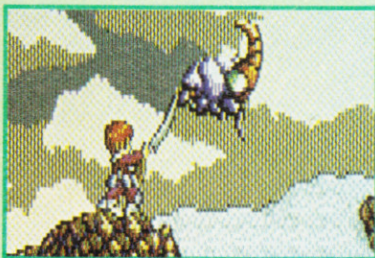
このジゲルも洞窟内に住んでいる。大型のハチの一種で、とても凶暴だ。子バチを連れていて、侵入者を見つければ、まずこの子バチが攻撃をしかけてくる。これがなかなかウルサクて、おまけに小さいから剣も当たらない。相手にせず、逃げてしまったほうが利口だ。親バチも放っておいても問題ないから、相手にしないほうがいい。



▲この子バチがしつこいのだ。戦おうなどとは思わないほうがいいぞ。



## ハリック



どっか——ん



山をテクテク歩いていると、岩とそっくりなボコッと盛り上がったところがある。近づくとなんか破裂して、中からハリックが飛び出してくるのだ。長く、力強い尾を使って攻撃してくる。少し離れたところからジャンプして、下突きで攻撃するのがベスト。倒さずにいると、どこまでも追いかけてくるからさっさとやっつけちゃおう。

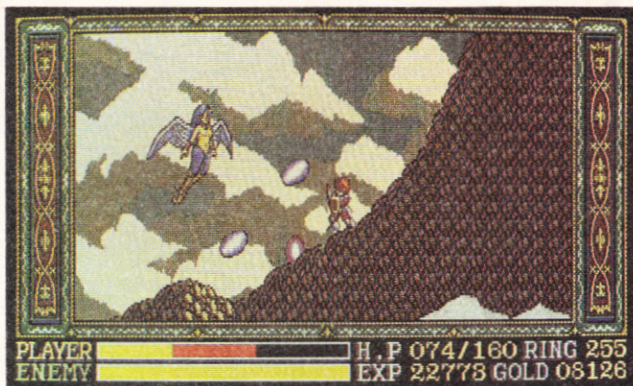


# リガティ、 空を飛ぶとは 卑怯だぞ!



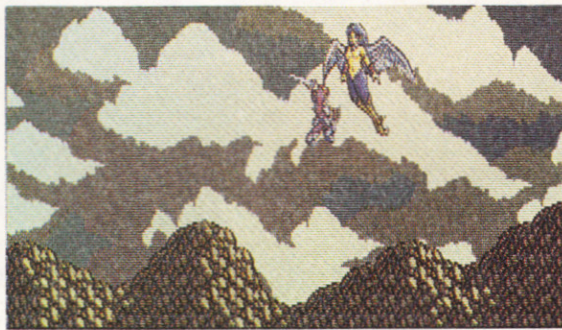
巨大な翼と女性の上半身を持ったコイツは、ハーピーの遠い親戚と思われる。姿は美しいが性格は凶暴だ。外見にだまされると、とんでもないことになるぞ。リガティは自由に空を飛び回るうえに、めったにアドルと同じ位置には降りてこないからやっかいだ。しかも空中から3方向に弾を吐き散らし攻撃してくる。できるだけ高いところに登り、ジャンプして切りつけるしか勝つ方法はないぞ。ジャンプしても届かない場合があるので、根気よく戦おう。ただし弾の死角をみつければ、よけられるぞ。

飛べっ、飛ぶんだ!



▲リガティは空中にいるため、得意の下突きが使えないのだ。くやしいぜっ。

とにかく  
高い場所で戦え!!



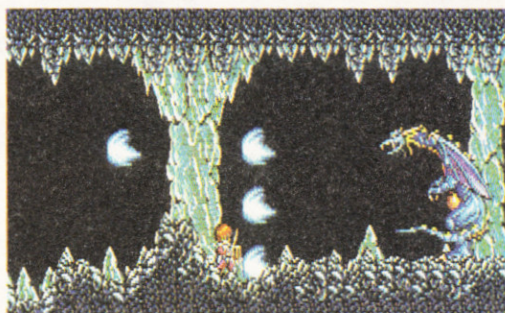
## 次なる道を切りひらけ



リガティを倒すと、「審判の杖」というアイテムが手に入る。ドギのいた小屋からリガティのいる山頂に来る途中に、妙な像があったよね。来るときは何も起きなかったけど、この杖を持っていると、シューッとその像が消えて下に下りる道が現われる。ここで先に進む前にアイテムチェックを忘れないように。リガティとの戦いで薬草を使ってしまった人は、面倒でも街まで買いに戻ろう。



# ギルディアスと 戦うには 根気が必要だ



★ブルーのウロコを体一面にまとってきれいなんだけど……。

ギルディアスは、かなり手強いぞ。口から吐き出す冷気のプレスには十分注意しよう。まず、一番上の写真の位置で第一波をやりすこす。そして、ちょこっと盛り上がった岩の上に乗って伏せるんだ。ここなら絶対プレスに当たらないからね。プレスがやんだら、一気に駆け下りてジャンプ！ ギルディアスの顔面にズバツと切りつけよう。命中したら即座に逃げて、元の岩の上で伏せる。この一連の動作をす速く行なわないと、必ずダメージを受けてしまう。3～4回くらいなら大丈夫だけど、攻撃するたびにダメージを受けていたんじゃ、ギルディアスを倒せないもんね。



★やっこのことでギルディアスを倒し、暗黒の影像を手に入れることができた。しかしこの直後に……。

まず第一波をよけ

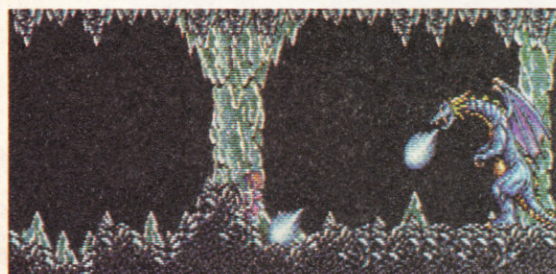
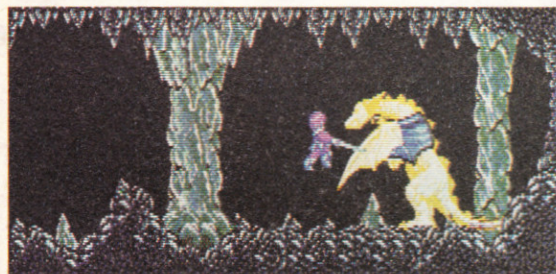
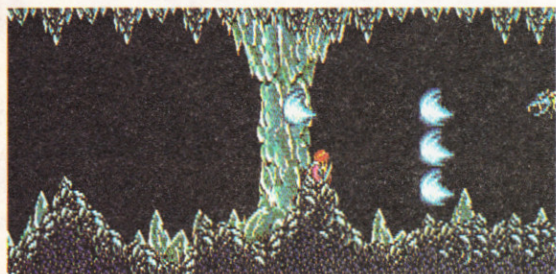
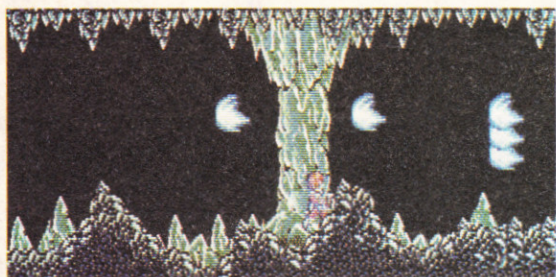
ここで待機

ジャンプ一番

切りつける！

ダッシュで逃げて

ひと安心





# がーん、閉じ込められてしまった



ギルディアスを倒し、やっとのことで彫像を手に入れたアドルは、急いで山を下りようと出口へ足を向けた。と、そのとき。誰かがこっちに向かってやってくるではないか。あ、またあの謎の男だ！ でももう、すでにみんな知っていると思うけど、この男はエレナの兄、チェスターなんだよね。チェスターも、どうやらアドルの持っている彫像が目当てらしい。と、このとき大地が揺れた。また、地震か!?

揺れがおさまったので出口へ行ってみると、岩が崩れてアリの通る隙間もなくなっていた。チェスターと2人で閉じ込められてしまったが、ちょうどいい機会だ。コイツとはゆっくり話をする必要がある。落ちついて話を聞くと、チェスターの仲間やチェスターとエレナの両親は、マクガイア城主に殺されてしまったのだそう。そして、その城主に復讐するため部下のフリをしているという。そうだったのか!!



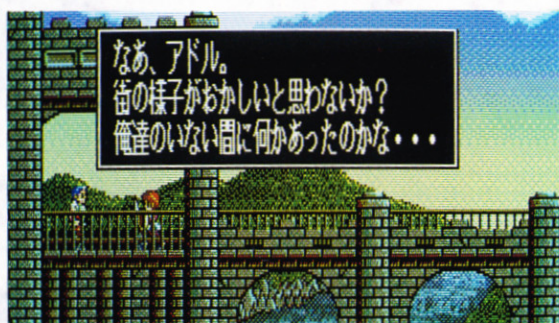
## 壊し屋ドギの登場だ!



◆イースシリーズはこの人なしでは語れない!  
IでもIIでも、ドギの破壊行動がなきゃアドルの命はなかったのだ。今回もやってくれたぜ!



# 街に帰ってきたんだけど……



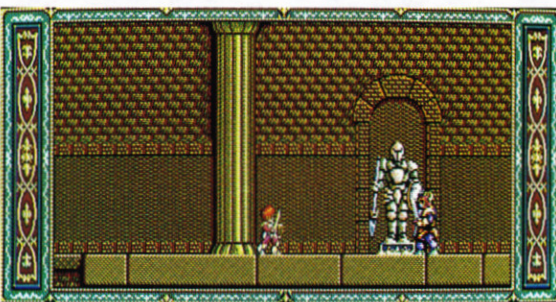
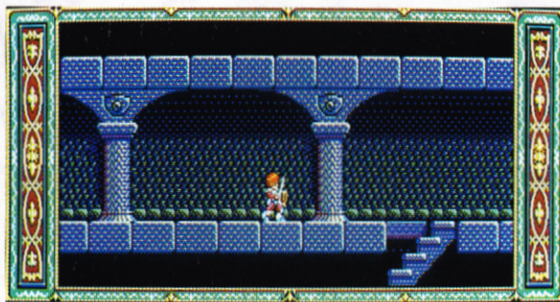
アドルはエルダーム山脈で彫像を手に入れ、ドギと一緒に街へ戻ってきた。しかし、なんだか様子がおかしい……。街に入ってみると、案の定、大変なことが起こっていた。バレンスタイン城のヤツらが、街の人たちを人質として連れさってしまったのだ。エドガーを脅していた言葉は、本当だったのか!? こうなってしまうとはもう一刻の猶予もない。急がないと街の人たちがみんな殺されてしまうぞ! ドギから“HEAL RING”をもらい、アドルはひとり、バレンスタイン城へと向かった……。



いよいよ  
次回は  
バレンスタイン城だ

お楽しみに!

ついにバレンスタイン城までやってきた。物語も後半を迎える。城の中はトラップだらけで、一筋縄ではいきそうにない。果たしてアドルは街の人々を救えるのだろうか? そして、チェスターにピエール、エレナも城にいるのだろうか? すべてはバレンスタイン城で明らかにされるのだ。アドルの運命や、いかに! 待て、次号!







## イースⅢ—アクションマニュアル

**LOGiN** 9月15日号特別付録

平成元年9月15日発行(毎月2回 第1、第3金曜日発行)第8巻 第18号 通巻92号

Illustrated by Hitoshi Yoneda and Shino Yamaguchi